

## 5 検討委員会、庁内連絡会の開催

### 5-1 検討委員会の開催

- ・ 検討委員会の開催日時及び概要を以下に示す。

	日時	概要
第3回	令和7年10月2日 15時～17時 【場所】 沖縄市こどもの国 チルドレンセンター2階	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会設置要綱の改正について</li><li>・ 前回議事要旨について</li><li>・ 令和7年度取組内容について</li><li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について</li></ul>
第4回	令和8年1月27日 10時～12時 【場所】 沖縄商工会議所ホール	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 前回議事要旨について</li><li>・ 令和7年度取組内容について</li><li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）について</li><li>・ 今後のスケジュールについて</li></ul>
第5回	令和8年3月4日 10時～12時 【場所】 沖縄こどもの国 チルドレンセンター2階	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 前回議事要旨について</li><li>・ 空地及びまちなか交流拠点の活用について</li><li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）に関するパブリックコメントの結果について</li><li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の策定について</li></ul>



第3回検討委員会の様子（沖縄こどもの国チルドレンセンター）

・ 第3回 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画検討委員会 議事要旨

日時：令和7年10月2日（木）15：00～17：00

場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター 2階

1. 開会

2. 議題 1) 設置要綱について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄市	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置要綱の別表の変更を行った。</li> <li>委員の役職変更、新たな委員の任命・追加等である。この設置要綱について、ご意見はあるか。</li> </ul>	(一同) <ul style="list-style-type: none"> <li>異議なし。</li> </ul>

3. 報告 1) 前回議事要旨

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄県バス協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の趣旨は、バスタ整備はうるま方面だけでなく反対側(那覇方面)も含め、バス停全体を一体的に国が整備した方が良いという考えである。沖縄市の発言が弱いため、一体的な整備を国に強く要望してほしい。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、国と連携していく。</li> </ul>

報告 2) 令和7年度取組内容について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
コザ商店街連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験で講演会・ワークショップが実施されているが、実施内容と検証結果を教えてください。</li> <li>実証実験で空地等を活用した広場の実験において、実験場所は地権者に了承済みか。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>今後ご報告させて頂く。 (令和7年度取組みにて報告) P10・16・17・20・23・25</li> <li>国道拡幅の事業用地及び残地(地権者の了承済み)を利用して実施した。 (令和7年度取組みにて報告) P18～20</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
中の町 自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の計画で、基本計画はどの位置なのか。また、基本計画を策定した後について教えてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画は、基本構想の内容を実現していくために必要な施策を検討し、とりまとめたもの。基本計画を策定することで、施策や役割等が定まり、事業が分かりやすくなる。</li> </ul> <p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構想はイメージに過ぎないが、基本計画はそれを実現するための方法（法律・制度・技術など）となる。</li> </ul>
コザ 商店街 連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>連合会では補助金を受けて、14年前から無料駐車券を配布してきたが、本年度で終了する。今後、無料駐車券を配布する予定があるのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回は駐車券の配布ではなく、既存駐車場を整理し、バスタとの連携可能性を模索する。 (令和7年度取組みにて報告) P23</li> </ul>

報告 3) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄県 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市の計画では、バスタ整備を、上り線と下り線を一体に整備するものとして記載してほしい。イメージ図ではなく、「目指す」という表現で記述できれば国が整備を検討するのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスタ区域は現在検討中のため、「イメージ」と記載しており、引き続き国と連携しながら検討していく。</li> </ul> <p>(南部国道事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市のまちづくりと連携して進めている。必要な機能については、関係者にヒアリングを実施し、将来を見据えた議論を行っている。確定した配置計画をお示しできないが、連携して進めているため、ご理解をいただきたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
南部国道事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「多様な文化との連携発信機能」と「スポーツ交流機能」については、これらをバスタ内で機能を持たせるのか、それともバスタを含む周辺のまちで機能させるのか、考えを教えてください。最終的には役割分担や予算の事になるため、それを意識しながら進めていきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ コザ運動公園（沖縄アリーナ含む）や沖縄こどもの国などとバスタ中でも何か連携できればと考えている。具体的事項は今後、幅広く検討していきたい。</li> </ul>
胡屋大通り会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 今年度で基本計画を策定することだが、沖縄市としては、国道 330 号の両側にバスタ事業があり、進めていくという認識か。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 沖縄市としては、基本構想の段階ではあるが両側整備のイメージである。</li> </ul>
埼玉大学 大学院 理工学 研究科	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 単なる交通の施設ではなく、胡屋地区を沖縄市及び中部都市圏の拠点として中心性を高めていく取り組みが重要。</li> <li>▪ 基本計画は交通施策中心だが、市役所の各部署と連携し、公共施設等総合管理計画や立地適正化計画を活用し公共施設の誘導を図り、商工部局と連携し民間の力を活かした賑わい創出を推進することが重要。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ご意見を踏まえ、今後の課題として明記する。</li> <li>▪ 今後、立地適正化計画、ウォークアブル推進計画、(仮)都市再生整備計画などの策定を想定しており、庁内の連携も踏まえながら進めていきたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
埼玉大学 大学院 理工学 研究科	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 今後の進め方として、交通施設の必要機能と関係者（国、市役所、地元）の役割を検討するが、役割分担を過度に意識せず、明確な機能は事前決定し、曖昧なものは必要性を合意の上、後日調整など柔軟な整理の仕方が必要ではないか。</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ご意見を踏まえ、各施策を進めるにあたり、詳細の役割等を調整しながら柔軟に対応していくこととしたい。</li> </ul>
沖縄市 社会福祉 協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「地域連携・訓練体制」では、消防団などの追加を提案したい。</li> <li>▪ 「多様な移動手段への対応」では、福祉・介護関連の移動車両の環境の検討を希望する。</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 消防団などの自主防災組織は「地域」（住民）の役割として整理したい。</li> <li>▪ 福祉車両については、現在国土交通省で特定車両の追加が検討されており、状況を踏まえながら検討する必要がある。</li> </ul>
センター 自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ センター自治会は、本年度から「自主防災・防犯組織」を立ち上げ、9月23日に公園で消火器体験会を実施し、9～11月に防災講座を3回開催して地域連携による防災意識向上を図っている。センター街公園には防災対応の発電機と蓄電池を設置予定。</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 防災機能の向上の取組みとして、地域との連携は必要不可欠であると考えており、連携施策を検討したい。</li> </ul>
コザ 商店街 連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ バスタ事業とそれ以外の事業が存在する。関係者への説明は基本計画策定後に行うのがよいか。</li> <li>▪ 街中に、情報伝達拠点がなく、バスタ事業開始までの期間、どのように情報を伝えるべきか。行政に検討をお願いしたい。</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 市基本構想や本日の資料は公開されており、その内容は共有可能である。</li> <li>▪ 試験的に、まちなか交流拠点として、空き店舗を活用した情報発信の場を考えている。 （令和7年度取組みにて報告） P21</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 沖縄の都市計画では、県外事例のような広い空間のイメージの実現可能性が課題で、狭く迷路のような道（すーじー）などを活かす必要がある。地元住民と協力し、沖縄市の中心地や中部拠点を象徴する広場や拠点となるよう具体的に計画することが重要。</li> <li>▪ 立体交差（歩行者デッキ）による接続や広場での楽しみ方を考慮すべき。また駐車場確保の難しさから、国道下や沿道への地下駐車場建設ができれば、歩行者デッキ、地下駐車場、ショッピングモールの導入による活性化が進み、中部圏域における求心力が高まるのではないか。</li> <li>▪ 立体的な視点をもって実現可能性を向上させ、沖縄全体の交流拠点を相互に配置する戦略的な計画を進めてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ご意見を踏まえ、ウォークアブルエリアの検討において、交通結節点周辺の公園やゲート通り・パークアベニュー・すーじー等が連続するパブリックスペースの配置方針について整理した。(資料3)</li> <li>▪ 今回、立体横断施設や交通広場のイメージを整理した。(資料3)</li> <li>▪ 本市の交通拠点まちづくりは、第4回中南部都市圏都市交通マスタープランにおける「都市圏の南北骨格軸」(拠点都市間)の形成を担うものと認識しており、関連計画として整理した。(資料3)</li> </ul>
合同会社 イドムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 平成28年に都市計画決定したパークアベニュー双方向通行化から約10年で実施されているが、現在はウォークアブル(歩行者中心の街づくり)の概念があり、時代と共に変化している。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 商店街を中心にゲート通りやパークアベニューなどを含む範囲をウォークアブルエリアとして設定しており、将来の双方向化を見据えた道路空間の利活用(交通規制等による歩行空間創出など)についても検討していきたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ まちの変化に柔軟に対応するため、事前情報伝達機能を含むアーバンデザインセンター（UDC）の設立が重要。</li> <li>▪ 21世紀ビジョンで官民学連携による拠点づくりが記載されているため、これを推進すべきである。</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 今年度は、まちなか交流拠点の実証実験を行っているところであり、地域との接点となるような取り組みにつなげていきたいと考えている。</li> </ul> （令和7年度取組みで報告） <b>P21</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 今年度琉球大学及び東京大学において、胡屋バスタに関連する授業や研究を実施していただいたところであり、今後の学との連携も強化していきたいと考えている。</li> </ul>
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 生活道路対策について、通学路の要素が必要ではないか。また、無電柱化を推進することで道路空間が広がり、機能の活用がしやすくなるという点も考える必要がある。</li> <li>▪ 県観光危機管理実行計画では、帰宅支援のための拠点づくりの議論がおこなわれているため、防災機能に、観光（客）を記載してもらいたい。</li> <li>▪ 「イメージ図」は現時点の案なので、デッキで繋いだ図などを提案してみてもよいのでは。</li> <li>▪ 資料4の役割分担（案）にバス事業者も必要ではないか。基幹バスやバス停のグレードアップなど、バス事業者が協力しやすい事項を含めるとよい</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 通学路を中心とした対策として整理した。無電柱化については、歩きやすい道路空間づくりとして整理した。</li> <li>▪ 地域住民や観光客等を対象として整理を行った。</li> <li>▪ 今回、立体横断施設や交通広場のイメージを整理した。（資料3）</li> <li>▪ 今回、役割分担（案）に追加した。（資料3）</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>内閣府 沖縄総合 事務局 開発建設課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウォークابل事業は、大都市や大企業のある場所のように人通りが多いエリアでは計画が立てやすいが、地方都市では取り組みが点在しがちなので、線をつなげる視点をもち、成功事例を参考にすることが重要。また、商店街や住民と連携した一体的な取り組みを進めてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度においては、交通結節点を中心に周辺街路や公園等と連携したパブリックスペースの方向性を整理したところであり、ご意見を参考に今後のウォークابل推進計画の検討に活かしていきたい。</li> </ul>

・ 第4回 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画検討委員会 議事要旨

日時：令和8年1月27日（火）10：00～12：00

場所：沖縄商工会議所ホール

1. 開会

2. 報告 1) 前回議事要旨

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>議事要旨についてご意見あるか。</li> </ul>	(一同) <ul style="list-style-type: none"> <li>異議なし。</li> </ul>

報告 2) 令和7年度取組内容について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
胡屋 大通り会	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間バスの無料実証実験の結果が出ているため、バス事業者の感想を伺いたい。</li> </ul>	(バス協会) <ul style="list-style-type: none"> <li>バス事業者が実施する場合、有料により乗車率の低下が予測される。また、沖縄市を23時発とする場合、労働時間の課題が生じるため、バス事業者主体での実施は難しいと思う。</li> </ul>
沖縄市 観光物産 振興協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間運行の空港リムジンバスについて検討しているか。</li> <li>ターミナル構築において、使い方などの詳細がまとまっていない印象がある。観光客、沖縄市の地域住民、沖縄県民の視点も考慮して頂きたい。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>夜間バスの実証実験は、沖縄市の夜を楽しむことを目的とし、都市間移動手段のニーズを確認するためのもの。空港リムジンバスについては、バス事業者の意見もあるので引き続き可能性を検討していきたい。</li> <li>交通結節点（ターミナル）の詳細説明については、次の基本計画をご覧いただき、さらなる意見を伺いたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 住民意向調査では「駐車場が足りない」という指摘がある一方、駐車場機能の検討では「空車がある」という結果が出ており、両者の相違から実態の確認が必要と思う。利用者が目的場所の近くに駐車したいというニーズが原因で「不足」と感じる可能性があり、検討範囲を 300m 圏内ではなく 50m 圏内などに狭めて議論すべきではないか。</li> <li>▪ 満空情報を提供することで、解決できる可能性もある。イベントごとに駐車場の満車度を調査し、地域全体として満車になっているのか、それとも駐車場のバランスが悪いのかを検討してはどうか。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ご指摘を踏まえ、実態をより正確に把握するよう、今後、調査結果の再分析等を検討したい。</li> <li>▪ 既存の駐車場システムで満空情報等の提供について関係部局と調整していく。</li> </ul>
センター 自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 空き地増加に伴う雑草管理の問題が発生する。活用例として、定期的または恒久的なイベントを実施し、空き地を感じさせないまちづくりを推進してほしい。</li> <li>▪ 地域住民と共にワークショップなどを通じて、空き地の利用方法を検討して頂きたい。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 空き地の利活用について、地域住民と共に活用することを前提とした実証実験を本年度実施しており、次年度以降も継続予定である。地域の意見を聞き、住民を交えながら可能な活用策を共に検討していく。</li> </ul>
ハイヤー・ タクシー 協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 夜間バス実証実験の利用状況を踏まえ、路線バスの運行終了後にエリアを限定したデマンド型交通の活用についても検討いただければと思う。</li> </ul>	(事務局)

3. 議事 1) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球バス交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 沖縄市は中南部の拠点としての意識が強いが、中北部との交通拠点としても機能しており、うるま市や北部（やんばる地域）との連携も強化する検討が必要ではないか。</li> <li>▪ 県総合交通体系基本計画との整合を図りながら進めていただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 県総合交通体系基本計画では、北部・中部・南部の連携が位置づけられているため、これを意識しつつ検討を進めている。</li> <li>▪ 22 ページの図において、北部市町村等との結びつきを意識しているが、より分かりやすい表現に努める。</li> </ul>
バス協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ うるま市向けと那覇向けの整備を分離する案が、基本計画で位置づけられていることを了解した。</li> <li>▪ パークアベニューの二車線化計画が進められているが、これにより「緑の風景」が守ることができるのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 道路課や周辺の通り会など関係者が、市民の意見を反映し、街路樹などの調整を行いながら後世まで続くように整備を進めていく。</li> </ul>
沖縄市観光物産振興協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 東南植物楽園との連携により、緑の保全策を検討中であると聞いている。</li> <li>▪ 沖縄市の総合計画にまちづくりの部分があるので参考にしたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 本市の総合計画を踏襲しながら進めていく。</li> </ul>
ハイヤー・タクシー協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 高齢者などに配慮したユニバーサルデザインや配車アプリ対応の乗降場が必要ではないか。</li> <li>▪ 災害時の帰宅困難者への、タクシー利用についても考慮いただきたい。</li> <li>▪ タクシー利用のイメージがあれば教えてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 交通機能として多様な移動手段として検討している。</li> <li>▪ 帰宅困難者や周辺地域の方々の災害時の一時滞在する防災機能を考えている。</li> <li>▪ 沖縄市のイメージ図では、44 ページ左図でタクシー乗降場をイメージしている。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>埼玉大学 大学院 理工学 研究科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の計画において、都市拠点としての位置付けが次第に明確になってきており、広域都市拠点の役割について県をはじめ、関係者間で十分に議論しながら、導入する機能などを検討していただきたい。</li> <li>・ 地区内拠点の役割として、市役所の関係部局と連携し、公共施設の誘導を検討してほしい。公共施設総合管理計画や立地適正化計画の検討の中で、交通結節点にどのような機能を誘導するか、施設の更新・統廃合と併せて検討して頂きたい。</li> <li>・ 交通結節点の具体的な整備において、歩行者動線を意識して検討してほしい。バス動線の議論は進展していると思われるが、安全面や円滑な歩行者動線になっているのか、まちづくり側では周辺市街地との回遊性をどう高めるのかを検討して頂きたい。</li> <li>・ 市街地と一体となった交通結節点は全国でも珍しいケースであり、整備後も地域で運営していくことも含め計画してほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域的な視点については、関係者で議論しながら、整理していきたい。</li> <li>・ 公共施設の誘導などについては、令和9年度に予定している立地適正化計画との整合を図りながら、可能性を庁内で検討していきたい。</li> <li>・ 歩行者動線についてはエリア内の移動状況を継続的に調査しつつ、施設など配置も歩行者動線も意識しながら関係者と共に検討していく。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>デザインコードは、1と2は静的なイメージとして、3と4は動的な印象を受ける。今後のまちづくりとしては、1、2の色が強い一方で、3、4は何かを作るというよりは、空間の遊びのような余地を確保していく要素だと思うので、もう少し賑わいに関連する記述が必要ではないかを感じる。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインコード1と2では空間を意識したアプローチを、3と4では賑わいに関連する記述とともに、空間に活用する視点を追加する。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>「拠点性」をもたせることが重要。両側を広場のようなデッキで繋ぐとか、周辺の駐車場を地下や国道下などへ集約するとか、このまちに拠点ができるのと来訪者の回遊にも繋がるのではないか。県の中南部都市圏や北部圏域も対象とした交通施策と整合を図りながら、この地区の拠点性を高めていくことが大切だと考える。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の広域的な視点も踏まえて、拠点性を高めていきたい。</li> </ul>
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>コザ運動公園は、自動車優先の公園の印象があるが、今後の改修計画などあれば、この会でも共有してほしい。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>担当部署と調整のうえ、情報提供したい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>沖縄市 観光物産 振興協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄市内（宿泊観光客を含む）では、北部地域の美ら海水族館やジャングリアへのアクセス改善を求める声があり、逆に北部地域からも沖縄市内のキングス観戦のための交通手段を望む意見が寄せられている。乗継なしで利用可能な路線バスや高速バスの導入を検討して頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本計画では北部地域との接続も想定しており、高速バス停との連携も含め考えていきたい。</li> </ul>

・ 第5回 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画検討委員会 議事要旨

日時：令和8年3月4日（水）10：00～12：00

場所：沖縄こどもの国 チルドレンセンター

1. 開会

2. 報告 1) 前回議事要旨

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
なし		

報告 2) 空地及びまちなか交流拠点の活用について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
埼玉大学 大学院 理工学 研究科	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流拠点は「気軽に立ち寄れる空間の構築」が大切。拠点を長時間開放し、地元の方が気軽に利用・滞在できる環境を整えることを強くお願いしたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人手不足などの課題があり、週1回の開所が精一杯の状況であるが、今後も拠点として周知を続けながら、地域の方々と相談しつつ、開所日数を増やせるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
合同会社 イドムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前、まちなか拠点として、「商店街交流広場（コザBOX）」を運営していた。コザ商店街連合会で令和6年3月まで15年間、市からの補助金を活用して運営されていた。地域による自力運営は資金面で困難であるため閉館にとなった。まちなか拠点の今後の運営方針をどうするのかお聞きしたい。</li> <li>拠点は「気軽に立ち寄れる空間の構築」が大切だが、現在のまちなか拠点の訪問者人数と、備品の貸出の件数を教えてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営費の課題は、認識しており、今後とも商店街の皆様も一緒に運営形式なども含めて考えていきたい。</li> <li>金曜午後の有人運営時に訪問する人数は3名。備品貸出は、沖縄市工芸フェアで沖縄国際大学の学生へ貸出をおこなった。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
都市再生機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 福岡市天神にある「URBANG TABLE」は、普段はカフェとして運営されており、Wi-Fi完備でコワーキングスペースとしても利用可能。月1回のトークイベントなどで街づくりに携わる方々を招いてテーマに沿った対談や話を展開するなど多様なまちづくりの取り組みを紹介・交流する場となっている。</li> <li>▪ 名古屋市の栄にある「URまちのたね」は、街づくりテーマや魅力を発信することで、「ひと」と「まち」をつなぐマッチングの場として、また、各地の物産展や観光PR、移住相談などを開催しながら賑わい回復に貢献している。</li> </ul>	
胡屋大通り会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 空地活用について、市は空き地の権利関係を把握していて、地主などの調整は市が協力するということか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 市は登記簿で確認できる地権者は対応可能。国道拡幅用地は、市が国道管理者と調整する。</li> </ul>
合同会社イドムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 国道拡幅は道路から8メートルの範囲であり、そこを「空き地」とするのであれば、今回はあくまで一時的なもので恒久的な活用は現実的では無いと考える。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 国道拡幅やバスタ事業の完成までには「空き地」が残る可能性があるため、継続的な土地活用が必要と考えている。今後とも皆さんと意見交換をして参りたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流拠点に人が立ち寄れる場所となり移動がうまれ、待合所や、地域住民の関わり方が広がると考えている。県外の類似事例（特に交通事業者との連携が進んでいるもの）も調べてほしい。交通事業者も一緒に取り組んでいきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>たとえば、交通の情報発信する拠点としてサイネージなどで情報発信できないかなど、県外事例も参考にしていきたい。</li> </ul>

報告 3) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画(案)に関するパブリックコメントの結果について

3. 議事 1) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の策定について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
合同会社 イダムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメントにある駐車券事業は、商店街交流促進事業(中活)として実施していたが目的達成ということで、本年度で終了となる。</li> <li>役割分担について「地域・商店街」に全てに役割がついているが、「市が全てやってくれる」と依存体質もあるので、地域・商店街から合意を得ていくことも課題になるのではないかな。</li> <li>街の課題として駐車場が不足しており、土地不足のため、地下駐車場を希望する意見がある。それにより、デッキが不要になり、防災シェルターとしての機能も兼ねられるのでは。基本計画にも可能性として記載してはどうか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役割分担は(案)で、交通拠点まちづくり実現していくには、商店街の協力が不可欠であり、「市民・商店街・企業等」をまちづくりが主役として、今後ともお互いに協議しながら一緒にまちづくりを進めていきたい。</li> <li>地下空間の活用は、委員長からも拠点性を持たせる手法として提案されている。具体的に地下か地上かなどの詳細は、施策をすすめていく中で必要に応じて可能性を検討していく。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
合同会社 イドムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場は、日中の空きはほとんど無い。理由は月極契約が多く、時間貸しが少なくなっているため。駐車場のデータを提供可能である。</li> </ul>	<p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画は、全体の骨組みを示し、具体的内容を定めるものではない。</li> <li>・ ただし、最後のページは、今後の課題や進め方などをもう少し追加した方が良い。事務局にて検討し、委員長預かりとさせていただきます。</li> </ul>
コザ商店街 連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画策定後、事業完了時期が明確になっていない。取組み案が多数ある一方で、基本計画は完了時期が明確でなく、全体の進捗が遅い印象を受ける。たとえば、空地イベントの体制づくりも早々に案を作り、次年度全て実行出来れば、具体的な目標設定できるのでは。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年度は、基本計画の策定と、「空き地」社会実験を実施した段階である。次年度以降に、各施策の「短期・中期・長期」のスケジュールを個別に検討していく。</li> <li>・ 基本計画は、「バスタ」と密接に関係しており、国・県・市が連携して進めていくところである。対象エリアは既存の建物・土地が多いため、慎重に進めていく必要があり、ある程度時間をかける部分とすぐに着手できる部分がある。</li> </ul>
沖縄市 サンシティ 商店街 振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年・20年の長期展望をどのように持って進めていくかを、基本計画に追加した方が良いのではないかと。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画「みんなで作る、活力に満ちたまち」を基本方針とし、交通結節点の整備を通じて魅力的なまちづくりを進めていく。</li> </ul>
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の議事要旨で指摘した、駐車場が空いているのに空きを感じられない問題を明確にしたい。駐車場データをお持ちのようなので、確認をお願いしたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イドムスからのデータを活用して、検証していきたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度から事務局に中活担当の部署（経済文化部）を加えてはどうか。</li> </ul>	<p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回から事務局を商工振興課（経済文化部）と共同で担うかどうか検討したい。</li> </ul>
埼玉大学 大学院 理工学 研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割分担（P 6 1）は重要であり、皆が少しずつ役割を果たすことが大事。国は広域交通軸としての道路機能の役割を、県は基幹バスのターミナル機能やアークアンドライド機能の役割を、市は地域拠点づくりの役割を果たすと共に、市は活動するプレーヤーを支援し、地域が主体となった運営となるよう、取組んで頂きたい。</li> <li>交通結節点では、歩行者の動線を意識し、安全面やまちづくりとの関係で周辺との回遊性を考慮しながら、歩行者の動線を優先的に考えてほしい。</li> </ul>	
埼玉大学 大学院 理工学 研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下駐車場の建設は高額であり、道路下では更にコストが上がると言われている。最近の全国的な動向は、中心市街地に車を入れず周辺に駐車場を配置し、歩いて楽しめる魅力的な街づくりを目指す方向性もあることから、それらも踏まえて、検討してはどうか。</li> </ul>	

## 5-2 庁内連絡会の開催

- ・ 庁内連絡会の開催日時及び概要を以下に示す。

	日時	概要
第3回	令和7年9月24日 10時～12時 【場所】 沖縄市5階 建設部会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事要旨について</li> <li>・ 令和7年度取組内容について</li> <li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について</li> <li>・ 交通拠点まちづくりから考える「交通結節点に必要な機能」（素案）について</li> <li>・ 実証実験（案）について</li> </ul>
第4回	令和8年1月23日 10時～12時 【場所】 沖縄市5階 建設部会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事要旨について</li> <li>・ 令和7年度取組内容について</li> <li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）について</li> <li>・ 今後のスケジュールについて</li> </ul>
第5回	令和8年3月2日 9時～11時 【場所】 沖縄市5階 建設部会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事要旨について</li> <li>・ 空地及びまちなか交流拠点の活用について</li> <li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）に関するパブリックコメントの結果について</li> <li>・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の策定について</li> </ul>



第3回庁内連絡会の様子（沖縄市5階建設部会議室）

・ 第3回 庁内連絡会 議事要旨

日時：令和7年9月24日（水）10:00～11:00

場所：沖縄市役所 5階会議室

1. 開会
2. 報告
  - 1) 前回議事要旨について
  - 2) 令和7年度取組内容について
3. 議事
  - 1) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について
  - 2) 交通拠点まちづくりから考える「交通結節点に必要な機能」（素案）について
  - 3) 実証実験（案）について
4. 意見交換

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
経済文化部 観光スポーツ振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コザ運動公園のリニューアルを検討中で、ファミリー層や、インバウンドも含めて呼び込みたいと考えており、さらにモビリティを繋ぐことで、中心市街地と繋ぐ仕組みを検討していきたいと考えている。</li> <li>・ 高齢化社会の進展を想定し、シニアカーの充電設備があると良いと考える。</li> <li>・ コザ運動公園周辺にも、循環バスを通してほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、地域公共交通計画の基礎調査を実施中で来年度に策定予定。沖縄市の循環バスも対象のため検討中である。そちらでもヒアリングをお願いできればと思う。</li> </ul>
経済文化部 商工振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終了した事業が記載されているため、以前の事業とわかるような表現に修正いただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 承知した。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
経済文化部 企業誘致課	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレワークセンター跡地利用について計画を予定、今年度サウンディング調査を実施している。スタートアップ事業、商店街、ラジオ講座等、複数の事業を所管しているため、情報共有をしていく。</li> </ul>	
建設部 区画整理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理事業において、道路整備は区画整理課で実施し、整備後に道路課に移管となるため、文章の修正をお願いしたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>承知した。</li> </ul>
建設部 道路課	<ul style="list-style-type: none"> <li>パークアベニューの道路空間を活用したまちづくりを推進する役割を加えての方が分かりやすくなるのではないか。</li> <li>基本計画の中に国県との連携が謳われているが、市内部での連携も重要である。様々な部署が参加しているため意見交換しながら共通認識を持つことが重要である。そのため、道路課の役割が多いことは納得できる。</li> </ul>	

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
建設部 都市計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画のスケジュールを R8 年度から R9 年度に修正いただきたい。</li> <li>防災の観点が増え、一時避難場所の記載があるが、何等かの用地確保の目途がある上での記載となっているのか。</li> <li>住民だけでなく、観光客にも分かりやすい防災情報を発信する必要があると考える。そのため、役割分担をして一緒に取り組んでいきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな用地の確保は考えていない。バスタのオープンスペースを活用し、有事の際に公共交通利用者が緊急時に避難場所、情報収集場所として活用する空間としてイメージしている。</li> </ul>
経済文化部 企業誘致課	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクルポートは現在、無償実験で設置中だが、今後拡大に向けて、採算は取れているのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>那覇市では採算がとれていると聞いている。サイクルポートは 500m 間隔であれば利用が活発になるようだが、沖縄市は現在 1km 離れているため、今後ポートを増やしていけば採算が取れるのではないかと意見をもらっている。事業者としては、費用もかかるため年間 1~2 箇所程度で進めていく予定と聞いている。一気に増やすためには自治体による自転車の購入等が必要となってくる。</li> </ul>
建設部 道路課	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路空間における滞留空間の創出のための道路使用・占有許可について、まちづくり創出と許可を明確にし、役割分担を整理してほしい。</li> </ul>	<p>(都市交通担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見を踏まえて整理する。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
事務局 企画部プロジェクト推進室	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄こどもの国は昔からあり、周辺住民は渋滞になれているが、渋滞対策は必要と考える。交通拠点の観点から、バスやシェアサイクル等の検討は可能なのか。また、まちづくり計画で位置づけられれば、取組を進めるため、国等から補助支援はあるのか教えてほしい。</li> </ul>	<p>(都市交通担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金については不明なため、確認してお伝えする。今後、循環バスについても検討を行っていく予定である。</li> </ul>
経済文化部	<ul style="list-style-type: none"> <li>全島エイサーなど開催時は、BCコザから発着し、施設を利用しない人が駐車場を使っている。大型イベント時では、市として人の移動を本計画で考慮するなら、議論したい。</li> </ul>	<p>(都市交通担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスタ中心とした交通まちづくりという視点で公共交通の検討する一方、周辺まちづくり視点で駐車場を考える考え方もある。イベントの動向を考慮し、関係部署と連携し意見を聞きながら進めていきたい。公共交通と自家用車のバランスも重要である。</li> <li></li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルサイネージと Wi-Fi を防災機能として予定している。防災課では、マンホールトイレ、上下水や備蓄倉庫など要望や意見はないか。</li> </ul>	<p>(総務部防災課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明資料にある防災設備でよいと思う。マンホールトイレは、下水道管が耐震化されていれば不要になる。</li> </ul>

・ 第4回 庁内連絡会 議事要旨

日時：令和8年1月23日（金）10:00～12:00

場所：沖縄市役所 5階会議室

1. 開会
2. 報告
  - 1) 前回議事要旨について
  - 2) 令和7年度取組内容について
3. 議事
  - 1) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）について
  - 2) 今後のスケジュールについて
4. 意見交換

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
経済文化部 企業誘致課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場調査のデータをどの程度のデータをもっているのか。</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場調査では、契約状況を月極（契約）と時間貸、または両者の混在に分類して実施した。各駐車場について、平日およびイベント休日の昼・夜に目視で駐車台数を確認した。駐車率は調査時の駐車台数から算出するが、月極と時間貸が混在する場合、時間貸の台数は駐車場内の時間貸割合に基づいて計算した。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>経済文化部 観光 スポーツ 振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デザイン部会や委員会でぜひ取り上げてほしい点として、「コザのまち」という認識が一般的に薄く、検索しても施設名ばかりがヒットし、まちの範囲が不明瞭であることが挙げられる。範囲を厳密に定義する必要はないが、「コザ」の名称をデザインコードなどでブランディングしなければ、他者に伝わりにくく、発展の可能性が失われてしまうと思う。</li> <li>• バスタを作るときの名称を「KOZA」など検討して頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ブランディングは皆でやるものという認識で、この事業だけで決めるものでもない。</li> <li>• 整備コンセプトでは「KOZA」と記載している。</li> </ul>
<p>経済文化部 企業誘致課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 方面別の施設回遊図に関連するため当課の事業説明をする(情報共有)。テレワークセンターは閉鎖中で予算次第で解体を検討しており跡地利用は未定。BC コザは雇用対策で市が買収したが、雇用対策効果の見直中であり、駐車場は老朽化している。バスタ事業完成前に変化する可能性が高いため、本計画への悪影響を避け、担当者間で必要に応じ連絡を取りたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 了解</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
建設部 区画整理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>嘉手納町や北谷町は西海岸軸付近に位置しており、これらをバスタ計画と連携させる必要があるのではないか。また、アリーナなどのイベント会場にルートを設定すれば、より多くの人を呼び込みやすくなるのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画の17ページに、交通結節点を核に、北谷(アメリカンビレッジ)や沖縄アリーナとの接続が示されている。</li> </ul>
企画部 プロジェクト 推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域のつなぐ」とあるが、自治会ごとの人口では美里、泡瀬、高原、比屋根が上位を占めており、次に胡屋が出てきて、その後、古謝、宮里が続く。地域や近隣の自治体の住民は関係ないと感じてしまわないか。沖縄市全体の都市交通で整理として整理されていると思うが、そこを繋げる工夫があれば良いのではないか。</li> <li>バスタ計画の内容と、それに紐づいたまちづくりの計画を連携させた方が良いのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通拠点の範囲を、交通結節点を中心とする中心市街地エリア(約2km圏)としている。</li> </ul>
建設部 道路課	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の使い方をどうするかが課題であり、市役所の各セッションで幅広い活用方法を集める意識が必要。道路の有効利用は地域の利益につながるため、地域住民の「一緒に作ろう」という意欲に応えるための、こちら側の意識改革が重要である。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画における役割分担は、国・県・市と大まかに記載されていますが、市役所内でも各部署で意見を集約していくことが重要だと感じている。</li> </ul>

・ 第5回 庁内連絡会 議事要旨

日時：令和8年3月2日（水）9:00～11:00

場所：沖縄市役所 5階会議室

1. 開会
2. 報告
  - 1) 前回議事要旨について
  - 2) 空地及びまちなか交流拠点の活用について
  - 3) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）に関するパブリックコメントの結果について
3. 議事
  - 1) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の策定について
4. 意見交換

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
防災危機管理担当	<p>(資料2：空地及びまちなか交流拠点の活用について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空地を活用した実証実験のアンケート回答数は、来訪者全てから得られたのか。</li> <li>• 空地の来訪人数は115人程度か。</li> <li>• 空地利用者の利益(売上)を市に報告し、市が地権者にそれを報告となっているが、利益増加が貸出賃料の上昇となるのではないか。どのような目的で市が地権者に報告するのか。</li> <li>• 空地は今後増えていくのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 来訪者の1/3が回答。</li> <li>• 先週の工芸フェアの結果も踏まえて、改めて連絡する。</li> <li>• 現在、無料で借りている。利益(売上)の報告と貸出賃料は今後の検討とする。</li> <li>• バスタ計画が実施すると、道路拡幅に伴い立ち退きによる空地が今後増えていく。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>企画部 政策企画課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空地の定義について、道路拡幅で発生する空地を対象としているのか。</li> <li>• 駐車場について、テレワークセンター跡地は企業誘致課により活用の見通しがないと位置づけられている。理由は、サウンディング調査（バスタ構想があることも記載して）を実施した結果、民間企業からはホテル・オフィスとしての活用は難しいとの見解が示され、代わりに駐車場又はマンションとしての活用を望む意向があったためである。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空地の対象は、道路拡幅で発生する空地のみを対象とする。</li> </ul>
<p>経済文化部 観光 スポーツ 振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空地のイベントで利益は出たのか。</li> <li>• 空地活用を進めるには、まず地権者に空地を利用することのメリット（利益）を伝え、理解を得ることが不可欠ではないか。空地活用のフローが始まるためには「発案」が無ければ何も進まず、全体として、メリットがなければ実現しにくいのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 市が主導して実施したイベントでは、出店者への利益は確認できていない。また、工芸フェアに参加した沖国生は営利目的ではなく地域住民との交流や学生の成長機会を主眼としているため、利益の発生は確認されていない。</li> <li>• 地権者が空地にメリットを見出して建物など建設すると、バスタ計画に支障をきたす可能性がある。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>経済文化部 観光 スポーツ 振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バスタ事業予定地は、都市計画決定をしているか。</li> <li>• バスタ計画以外の空地はどうなるのか。</li> </ul>	<p>(リンケージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空地活用の最終目標は地権者が地代を受け取り、利用が地代を払ってでもメリット（利益）を得る事である。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市計画決定は未実施であるため、地権者が自由に建設可能である。建物など建設するとバスタ計画に支障が出てくるので懸念していることから、空地の活用を進めたいと考えている。</li> <li>• バスタ計画の用地買収では、空地が残らない。</li> </ul>
<p>経済文化部 企業誘致課</p>	<p>(資料4：基本計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路上にある商店街のアーケードは、誰が整備するのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 商店街のアーケードの整備を誰が整備するかは未定である。また、交通機能のハード整備は国が担い、市は維持管理を求められている。</li> </ul>
<p>企画部 政策企画課</p>	<p>(資料3：パブリックコメントの結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存駐車場の有効活用に取り組むとなっているが、具体的に教えてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存の駐車場資源を有効活用のため情報提供を予定している。</li> </ul>
<p>都市整備室 都市交通 担当</p>	<p>(資料1：前回議事要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区内の拠点に公共施設の誘導する意見があり、この機会にその情報がほしい。</li> </ul>	<p>(企画部政策企画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 商工会議所の建物が老朽化している。また、まちなか交流拠点の運営主体としても、商工会議所に担ってもらうのが適切でないかと考える。</li> <li>• 博物館（S56年竣工：旧米琉センター）も建物が老朽化しており、移転や建替えも視野に検討している。</li> </ul>